

組合員とともに創る 地域営農のあり方を探る

2026年 **11月19日(木)** 13:00~17:00 **20日(金)** 9:00~12:00

会場 **日本農業研究所 1F** オンライン参加可(zoom使用)
(東京都千代田区紀尾井町3番29号 地下鉄有楽町線 麹町駅より徒歩3分他)

前回より会場が
変わりました。
(裏面に地図あり)

開催趣旨

令和の米騒動は新たな段階に突入した。米不足と価格高騰から一転、過去最高の民間在庫と消費減により、米は販売不振と価格下落に直面している。その一方で資材価格や燃料代は引き続き上昇。生産者はコスト割れ、JAは米穀事業の経営悪化が懸念される。

生産コストの上昇と資材不足は米だけにとどまらず、他の農畜産物でも同様である。アメリカ・イスラエルによるイランへの軍事攻撃がナフサを主原料とする生産資材の供給困難や大幅な価格高騰をもたらし、円安が資材・肥飼料価格の高騰を促進している。生産者・生産組織および組合員にとって今後の農業経営等への大きな不安材料だ。また、経営体の減少や農業労働力の高齢化も引き続き進行し、地域農業および生産者組織であるJAの存立基盤を揺るがせている。

農業・農村は未曾有の事態に直面しており、JAには、組合員や県連・全国連とともにその困難な課題に立ち向かうことが求められている。

一方、そんななかにあっても国民に安定的に食料を供給すべく生産活動に取り組む組合員が全国各地にいる。その営農・経営の発展を、JAは県連・全国連とともに支援しなければならない。

以上を踏まえ、本研究会では3JAより実践報告をいただくこととした。いずれも、組合員・生産組織とともに地域の特性を活かしながら懸命に生産活動を展開しつつ、消費者ニーズにも沿った地域営農を創造しようとする実践であり、本来の協同活動の在り方というべきものである。

次年度計画を模索・提起する貴重な時節、大いに学び大いに実践する研究会となることを祈念するしだいである。

発表者と発表内容

基調講演 ①

組合員とともに創る 地域営農のあり方を探る

黒澤賢治 (JA 総合営農研究会 代表委員)

事例報告 ①

スイカをはじめとする多様な品目を 組合員とともにつくる (仮)

小野靖彦 (JA 松本ハイランド 常務理事)

事例報告 ②

JA ぎふがつなぐ 持続可能な地域農業 と地域づくり ~10年後を起点に、生産・ 消費・人づくり・地域連携を循環させる実践~

渡邊智和 (JA ぎふ 常務理事)

事例報告 ③

JA 鶴岡 第14次振興運動計画に基づく 地域営農の実践について

菅原正成 (JA 鶴岡 営農販売部生産振興課 課長)



プログラム

1日目

11月19日(木)

- 12:30～ 受付
- 13:00～ 開会挨拶
◆黒澤 賢治 (JA 総合営農研究会 代表委員)
- 13:15～ **基調講演①**
組合員とともに創る地域営農のあり方を探る
◆黒澤 賢治 (JA 総合営農研究会 代表委員)
- 14:15～ **事例報告①**
スイカをはじめとする多様な品目を組合員とともにつくる
◆小野靖彦 (JA 松本ハイランド 常務理事)
- 15:30～ **事例報告②**
JA ぎふがつなぐ 持続可能な地域農業と地域づくり～10年後を起点に、生産・消費・人づくり・地域連携を循環させる実践～
◆渡邊智和 (JA ぎふ 常務理事)
- 16:30～ 質疑・討議
- 17:00 終了
- 17:20～ 交流懇親会 (別会場)

参加費 (一人あたり)

●会員

会場参加: 17,000円 (交流懇親会費込み)
(正会員・生産法人会員・団体特別会員で2人目以降は14,000円)

オンライン: 12,000円
(正会員・生産法人会員・団体特別会員で2人目以降は9,000円)

●非会員

会場参加: 22,000円 (交流懇親会費込み)

オンライン: 17,000円

※ オンライン参加の参加費を会場参加とは別に設定します。

※ 事前にお振り込みください (振り込み先は別途お知らせします)。

※ 参加費に宿泊費は含まれていません。宿泊は各自でご手配ください。

JA 総合営農研究会に入会し、実践交流しませんか？

- ☆ 入会案内パンフレット (入会申込書付) がございますので、お問い合わせ・ご請求ください。
TEL: 048-233-9336 (農文協)
- ★ 年会費
- | | | |
|--------|--------------------|--------------------------|
| 正会員 | 20,000円 | ※単位農協 (県1JAについては地区事業本部等) |
| 生産法人会員 | 5,000円 | ※集落営農、農業生産法人 |
| 特別会員 | 団体50,000円 個人5,000円 | |



JA 総合営農研究会ホームページ
ja-it.net

次回の公開研究会案内や過去の報告内容などを掲載しています。

2日目

11月20日(金)

- 9:00～ **事例報告③**
JA 鶴岡 第14次振興運動計画に基づく地域営農の実践について
◆菅原正成 (JA 鶴岡 営農販売部生産振興課 課長)
- 10:00～ **総合討論**
◆進行 吉田俊幸 (JA 総合営農研究会 副代表委員)
リレートークも交えて
- 11:40～ **討論のまとめ**
◆黒澤 賢治 (JA 総合営農研究会 代表委員)
- 12:00 閉会



参加お申し込み方法

JA 総合営農研究会ホームページ上の参加申し込みフォームからお申し込みいただけます。

JA 総合営農研究会

検索



申し込み締切 2026年11月12日(木)

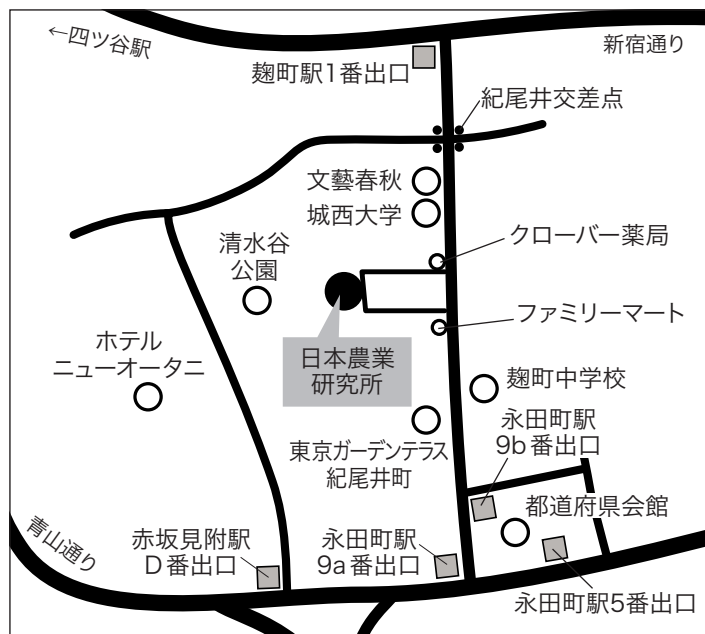
※ 締切日を過ぎてのお申し込みは、事務局宛ご相談ください。

問い合わせ先: JA 総合営農研究会事務局
(一社) 農文協 経営企画部文化活動グループ内
TEL: 048-233-9336 E-mail: info@ja-it.net

会場

日本農業研究所 1F

- ▶有楽町線「麹町」駅(1番出口) 徒歩3分
- ▶有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅(9a/9b/5番出口) 徒歩5分
- ▶丸の内線・銀座線「赤坂見附」駅(D番出口) 徒歩10分



※ **JA 総合営農研究会** JA 営農経済事業の改革と地域農業の活性化に向け、全国の JA 役職員が課題を共有しながら先駆的事例を双方向に学びあう実践的な研究会。2001年に「JA-IT 研究会」として設立。約40の JA を正会員とし、年3回の「公開研究会」と年1回の「人材養成セミナー」などを中心に活動する。2019年6月に「JA 総合営農研究会」と改称した。